



鶴山雪景

撮影 徳田名誉院長

CONTENTS

シリーズ 『 乳がん 』

第 2 回 乳房再建

ブレストインプラントによる乳房再建

2013 年 7 月よりブレストインプラントが保険適応となり、
乳房再建術の視野が大きく広がりました。
そうした中で、当院の乳房再建の体制をご紹介します。

News & Topics

新リニアックでの治療開始
新任医師の紹介

シリーズ『乳がん』

第2回 乳房再建—ブレスト・インプラントによる乳房再建—

形成外科部長 奥本 和生

形成外科部長 藤原 一人

2016 年 1 月より津山中央病院形成外科で、乳がんによる乳房切除術後の乳房欠損に対して、ブレスト・インプラント（以下インプラント）を用いた再建術を行っています。2013 年 7 月より乳がん術後の乳房再建術でゲル充填人工乳房（ブレスト・インプラント）および皮膚組織拡張器（エキスパンダー）を用いる手術が保険適応となっています。

インプラントは国内外において種々の経緯があり、安易な使用は慎む必要があるとの考えより、手術を行う施設は実施施設認定（図 1）を受け、術者は日本形成外科学会専門医または日本乳癌学会認定の乳腺専門医で、講習を受け使用方法や注意点について十分理解している、登録された医師が手術を行うことで保険適応となります。

図 1



エキスパンダー実施施設認定証



インプラント実施施設認定証

津山中央病院では外科との連携を行い、登録形成外科医師 2 名で手術を行っています。インプラントの手術は基本的には手術を受けた乳房部位のみになります。筋皮弁等を用いた再建方法のように、別の部位にキズ跡は残りません。欠点としては、皮膚皮下組織が少なくなっている場合には、組織を拡張する手術と、インプラントに交換する手術の複数回の手術が必要になります。また手術後人工物を皮下に挿入するため、直上の皮膚の冷感、特有な皺ができる、皮膚が硬くなる等の可能性があり、また術後 10 年からそれ以上でインプラントを交換する必要がある場合もあります。

第2回 乳房再建—ブレスト・インプラントによる乳房再建—

手術方法については、再建術をいつ行うかによって分類されています（表1）。おおまかには、乳がん摘出後、同時に再建する方法（一次再建術）と手術後落ち着いた状態で再建する方法（二次再建術）になります。当院で行っている手術は二次再建術になります。この手術は外科で乳がん手術を受けた後、同部が落ち着く（創の治癒、化学療法や放射線治療等が終了）のを待って、エキスパンダーを留置する手術を行い、組織拡張後（数ヶ月間で拡張）にインプラントに入れ替える手術を行います。その後、必要であれば乳頭・乳輪の形成術を行います。

表1 ブレスト・インプラントを用いた乳房再建術（一次再建術と二次再建術の利点、欠点）

一次再建術	二次再建術
乳がん手術と同時にブレスト・インプラントで再建する、またはエキスパンダーの留置まで行う（エキスパンダーを留置した場合は、皮膚等の組織を拡張させた後、ブレスト・インプラントに交換する）	乳がん手術時にはがんの手術のみを行い、その後、手術部が落ち着いた時点で、エキスパンダーの留置手術を行う、その後、組織を拡張させて、ブレスト・インプラントに交換する手術を行う
長 所	長 所
・手術回数が少ない（経済的負担が少ない） ・乳房喪失感が小さいと言われている	・乳がんの術後治療を積極的に行える ・健側乳房の大きさや、形態について、再建する乳房について時間をかけて検討ができる
短 所	短 所
・術後合併症が、二次再建手術に比べ若干多いと言われている ・乳がん手術中の切除範囲の変更に対応が困難なことがある	・手術回数が多くなる（経済的負担が大きくなる） ・再建手術が終了するまでの期間が長い

乳房再建術は、乳がんの治療を行った後に行われる手術ですが、当院では、がんの治療のみではなく、その後の乳房再建術について、希望がある方には形成外科でインプラントや筋皮弁等の再建術等についての説明を行っています。またそれらの手術に対して保険が適応される範囲が広がったことで、患者さんの不安が少しでも減るのではないかと考えています。

また一次再建術についても、今後も当院外科との連携をより進めていくことで、可能になると考えており、現在、鋭意準備しております。

今後ともよろしくお願い申し上げます。



形成外科 部長 奥本 和生



シリーズ 『 乳がん 』 次回は 看護の役割

外来診療担当医の変更について

今月は変更ありません。

研究会、教室のご案内

■美作地区胸腹部画像診断研究会

日時／通常毎月第4金曜日 19:00～（8・12月を除く）

場所／津山中央病院 医療研修センター 2階講義室

※変更がある場合がございますので、詳細はお問合わせ下さい



■津山中央記念病院 糖尿病教室

日時／毎週火・水曜日 13:30～（30～60分程度）

場所／津山中央記念病院 2階会議室

■津山中央病院 糖尿病教室

日時／毎週月曜日 13:00～14:00

場所／津山中央健康管理センター 3階
A会議室

CCセミナー（地域連携セミナー）のご案内

当院では、地域連携セミナーとして、CCセミナーを開催しています。
地域の医療従事者の方に自由にご参加いただけます。

2月

日時／平成29年2月16日（木） 津山保健センターホール

内容／出張CCセミナー in 津山

講演1 食物アレルギーと学校給食 小児科 梶 俊策

講演2 結【ゆい】カードの説明 外科 林 同輔

日時／平成29年2月23日（木） 美作保健センター

内容／出張CCセミナー in 美作

講演1 食物アレルギー 小児科 杉本 守治

講演2 結【ゆい】カードの説明 外科 林 同輔

3月

日時／平成29年3月2日（木） 真庭リバーサイドホテル

内容／出張CCセミナー in 真庭

日時／平成29年3月6日（月） 記念ホール

内容／エイズ講演会（仮）

日時／平成29年3月10日（金） 記念ホール

内容／『地域連携と災害対応』

講師／済生会熊本病院 院長 副島 秀久 先生

私たち津山慈風会は、
地域の皆さんに
やさしく寄り添います

津山中央病院 地域連携室
〒708-0841 津山市川崎 1756
TEL 0868-21-8111 FAX 0868-21-8201
メール tcmn@tch.or.jp
HP <http://www.tch.or.jp>